

六小・富士便り

開校55周年

国立市立国立第六小学校

校長室便りNo.10 令和7年(2025年)10月30日

開校55周年・令和7年度の運動会が終わりました！

10月25日の土曜日に実施予定だった運動会を、10月28日(火)に行いました。

秋の変わりやすい天候のため、天気予報も大幅に変わってしまい、とても残念ではありましたが、平日開催となりました。楽しみにされていた保護者の皆様や地域の皆様、ご来校予定だった皆様には、大変に申し訳ないところですが、自然現象には、敵いませんでした。ご覧いただけなかった保護者の皆様には、映像だけでもご覧いただけるよう工夫したいと思っていますので、ご容赦ください。



さて、ここで少し、運動会に向けて取り組んだ子供たちの様子をお伝えしたいと思います。

子供たちは、運動会を迎える前から、楽しみにしている子ども、緊張している様子の子ども、運動会等の取組を苦手にながらも挑戦している子どもなど、様々な姿がありました。

例えば、朝の子供たちの様子を知るために、また、挨拶をするために、私が昇降口前に立っていると「後3日だよ。運動会！」と声がかかり、登校時から楽しみにしている様子があり、頑張る気持ちを伝える子どもの姿がありました。

また、運動会に向けた練習では、それぞれがそれぞれの思いをもちながら、自分の学年での節目の運動会として頑張る姿がありました。各学年の表現を見ていると「背筋が伸びていて、きれいな姿勢であること」や「足を踏ん張り、力強い構えであること」、「手足を伸ばすこと」や「リズムにのって踊ること」等々、様々な頑張った跡を見ることができました。

他にも、6年生では、運動会の前日準備や片付けの時間に、全校のみんなのためにと先生たちと力を合わせて、積極的に取り組む姿がありました。他の学年の子供たちの中にも、先生たちが校庭で作業をしていると、一緒にお手伝いをしてくれる子供たちもいました。多くの子供たちが、運動会という自分の成長を高める機会に、頑張る姿がたくさんあり、私もとても嬉しい思いでいました。

運動会当日は、私にとっても、六小での初めての運動会でしたので、子供たちと同様に緊張感いっぱいの中でしたが、子供たちの演技や競技をしっかりと目に焼き付けながら、ご来校いただかなかった皆さんの分も含めて、心を込めて応援しました。

今年度は平日開催となりましたが、多くの方にご来校いただきました。ありがとうございました。

次は、開校55周年の運動会に続き、校歌制定20周年の音楽会を開催いたします。子供たちの成長を図っていく上でも、運動会同様に大切な学校行事です。引き続きとなりますが、保護者の皆様、地域の皆様、学校関係者の皆様のお力をお借りしながら、学校と協働していただき、成功へと導いていただけますよう、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

学童見守り会に立川警察から感謝状が贈られました。

毎朝の登校時に子供たちの見守りをいただいている、学童見守り会の皆様に立川警察から感謝状が贈られました。子供たちの安全と安心のために尽力いただいているところであり、全校朝会の子供たちの前で、第六小学校として表彰式をさせていただきました。



表彰式は、昨日の10月29日(水)に行いました。全校朝会に見守り会の皆様にお越しいた

だき、代表として原田さんに改めて感謝状をお渡ししました。

通学路は、場所によっては、狭いところも多く、自動車の抜け道であったり、自転車の往来も頻繁であったりと、決して安心できるところばかりではありません。登校時における子供たちの安心と安全を支えていただいていることに、全校を挙げてお礼の気持ちを表すとともに、子供たち自身が自分の身は自分で守る力を付け、安全に気を付けて登校できるように確認し、指導していきたいと思います。

学童見守り会の皆様、日々の見守りに対して、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

生成AIの活用を目指して

社会生活を行っていく中で、インターネットによる情報収集や知識の獲得など、今は当たり前のようにパソコンやスマホを使って行われています。インターネットは、世界的規模の情報や新しい知識・考え方等が瞬時に手に入ります。また、配信された内容が事実かどうか分からないままに急速に広がっていきます。リスクがあることをよく理解していきながら、活用していくところです。

私が小学生の頃に、未来のSFとして描かれていた世界が、現実の生活の中に存在しているという事実があります。憧れをもって未来を見つめていた頃を思い出しますが、現実目の前にあると、なかなか思うようにいかないところです。



さて、本市では、一人一台端末における生成AIが、11月から導入されることとなりました。活用する学年は、5・6年生が想定されています。学習や様々な取組の中で活用を図るところとなります。活用を図る上で大切なこととして、使用するにあたっての心構えやルールであるガイドラインの理解が必要になります。そこで、今回の導入に当たり、教育委員会より、生成AIの活用におけるガイドラインが示されました。今後、学校でも、家庭でも、学習活動において生成AIを活用するときには、ガイドラインを確認し、これからの世界を生きるための力の1つとして、生成AIを活用するとともに、適切な手立てとして使用していくことになります。

ガイドラインについては、すぐーる配信で全学年の保護者の皆様にお知らせするとともに、子供たちには、学習する前には必ず確認し、身に付けさせてまいりたいと思います。



【校長のつぶやき】

これまでたくさんの学校行事を運営してきましたが、その都度、気にかけることの1つとして、当日の天気予報があります。計画段階で天気に応じた準備やタイムスケジュール等を前もって計画していますが、メインの計画通りに進められることが一番です。入学式や始業式等の学校行事、各学年行事等、天気に影響を受けるものは、本当にたくさんあります。今年度の運動会も本当に残念でしたが、順延せざるを得ないところとなっていました。(悔しい限りです。。。)

これまでの学校の取組の中で、天気の影響を受けた一番の出来事は、雪予報の研究発表会でした。当日の予報として、雪の予報はありましたが、研究発表会に影響の出るほどのものではないと思われました。しかし、発表会が始まってから降り始めた雪は、学校周辺を一面の銀世界に変えていました。発表会が終わって、会場の暗幕を開けた時のインパクトは想像を超えていました。実際に大雪警報が出され、公共交通機関にも大きな影響がでるなど、予想を大きく上回る事態でした。

教員をしている限りは、きっとこれからも心を砕きながら、大成功を祈る日々が続きます。

